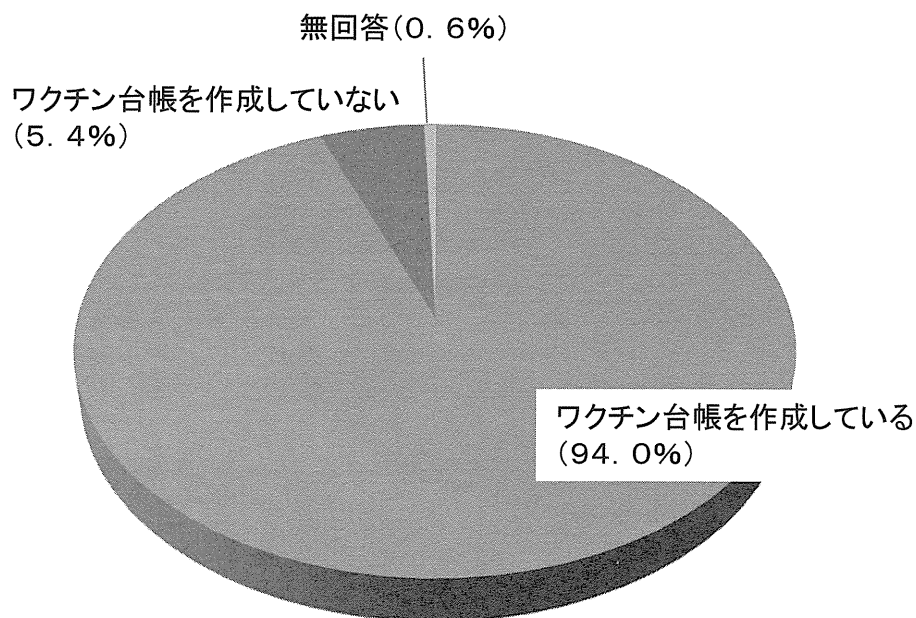


Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について ①

公費助成によるワクチン接種対象で、「ワクチン台帳」(登録=レジストリ)を作成していますか。

1. はい
2. いいえ



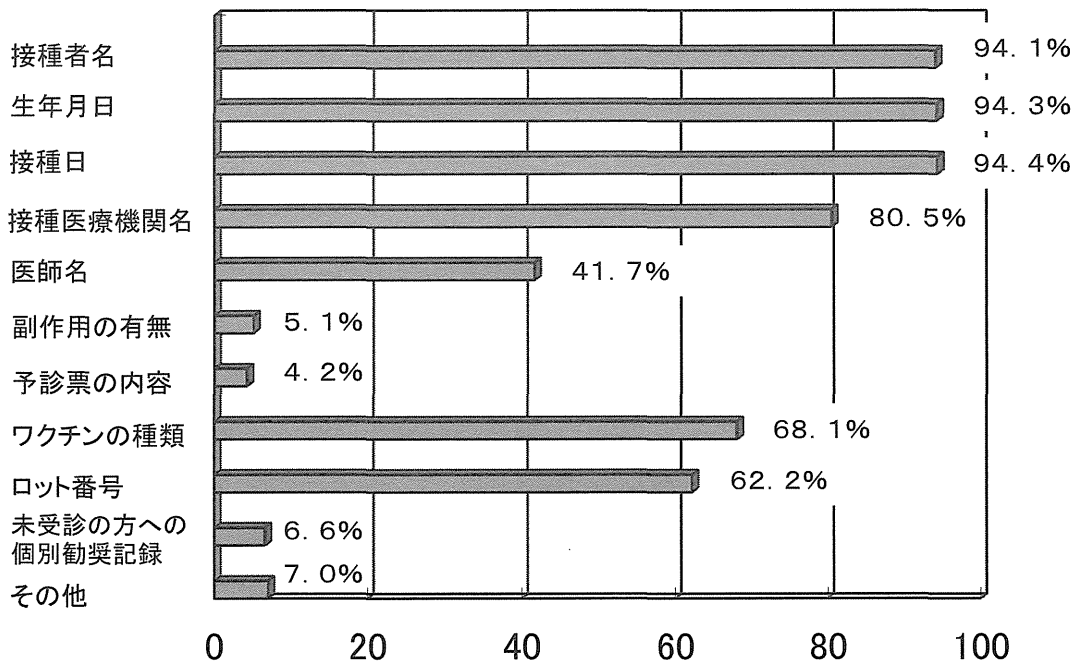
回答	回答数	割合
はい	1171	94.0%
いいえ	67	5.4%
無回答	8	0.6%
合計	1246	100.0%

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

ワクチン台帳を作成している」とお答えの方へ

① 次の項目のうち、「ワクチン台帳」に設けているものすべてに○をつけてください。

1. 接種者名
2. 生年月日あるいは年齢
3. 接種日 → (1回目 ・ 2回目 ・ 3回目)
4. 接種医療機関名
5. 医師名
6. 副反応の有無
7. 予診票の内容
8. ワクチンの種類
9. ロット番号
10. 未接種の方への個別勧奨記録 → (1回目 ・ 2回目 ・ 3回目)
11. その他()



回答	回答数	回答率
接種者名	1173	94.1%
生年月日/年齢	1175	94.3%
接種日	1176	94.4%
接種医療機関名	1003	80.5%
医師名	520	41.7%
副反応の有無	64	5.1%
予診票の内容	52	4.2%
ワクチンの種類	848	68.1%
ロット番号	775	62.2%
未接種の方への個別勧奨記録	82	6.6%
その他	87	7.0%
対象者数	1246	-

■ 接種日の回数別回答率

1回目	612	52.0%
2回目	611	52.0%
3回目	609	51.8%

■ 個別勧奨記録回数別回答率

1回目	34	41.5%
2回目	16	19.5%
3回目	17	20.7%

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

「ワクチン台帳を作成している」とお答えの方へ
「ワクチン台帳」に設けているもの…

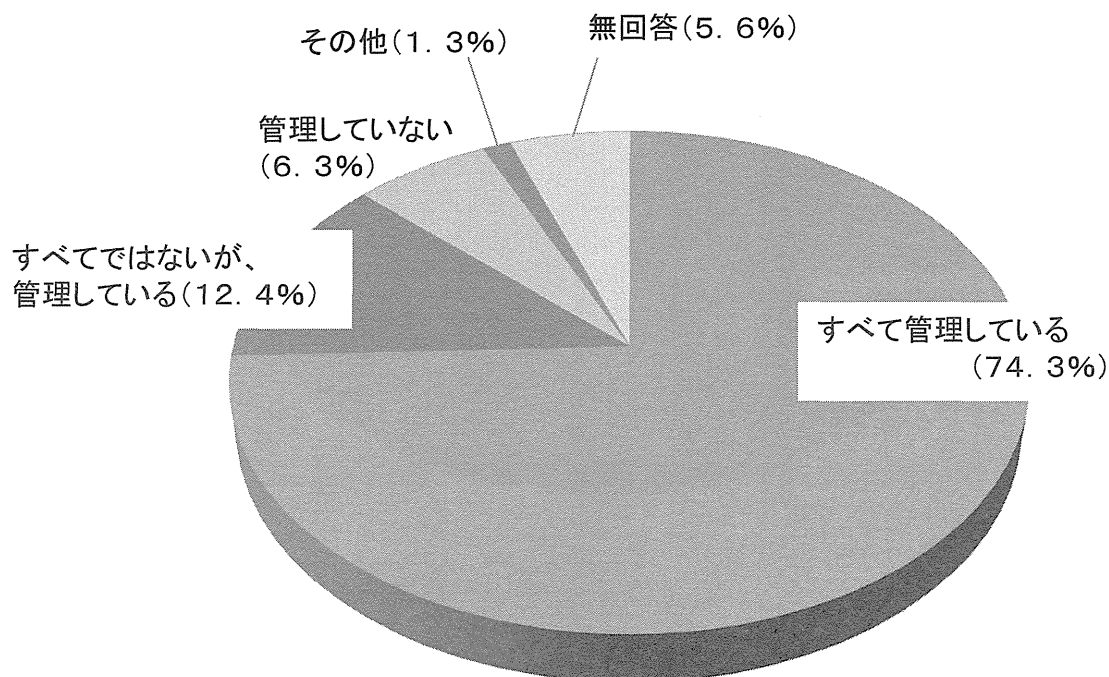
■その他のコメント

- ・料金
- ・問診票保管
- ・住所
- ・保護者名、接種方法、接種量、接種区分
- ・被接種者住所、保護者氏名、電話番号、中学校名
- ・個別接種か否か
- ・性別、保護者名
- ・定期接種、任意接種か。集団か個別か。
- ・ワクチンの有効期間
- ・助成金額、接種開始年齢、及び学年
- ・接種2回目ができているとか追加、遅れているとかの勧奨記録
- ・個別区分、助成区分、ワクチン有効年月日、副反応があった際は状況を記入
- ・ワクチンの接種量
- ・ワクチン製造メーカー
- ・メーカー、医師名は、問診医と接種医を別々に入力
- ・製造社、ワクチン有効期限、接種量
- ・住所、接種時学年
- ・診察前の体温、住所、保護者氏名、電話番号、接種量
- ・接種部位
- ・住所、自治会名、保護者名、個人番号
- ・接種と見合わせの別、電話番号
- ・接種の有無のみ
- ・ワクチンのメーカー名、ワクチンの有効期限(予診票に記録がある場合は)
- ・接種日、年齢
- ・他市での実施歴、ワクチンの接種量、有効期限
- ・接種量、接種腕
- ・予診票送付状況
- ・現物給付、償還払いの別、ワクチンメーカー
- ・保護者名、電話、住所、健康教育受講の有無
- ・接種の有無(不可問診含む)、住所、TEL番号、ワクチンの接種量(〇ml)
- ・接種券発送記録、接種区分(予診のみ、接種)
- ・転入、転出年月日
- ・予診のみの場合も登録しています。
- ・コメント入力(必要者)
- ・発行日、再発行日(接種券の)
- ・年度当初の個別啓発通知記録(中1のみ)
- ・個人コード(市独自のコード)、住所
- ・請求月
- ・体温、接種量、診察区分(実施できるor見合わせた方がよい)
- ・助成有無
- ・予診票発行(再発行)日
- ・副作用の有無、予診票の内容、ワクチンの種類は特記事項として備考欄に記入。

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

②「ワクチン台帳」に設けている項目はコンピューターで管理していますか。

1. すべて管理している
2. すべての項目ではないが管理している
3. 管理していない
4. その他(



回答	回答数	割合
すべて管理している	926	74.3%
すべての項目ではないが管理している	155	12.4%
管理していない	79	6.3%
その他	16	1.3%
無回答	70	5.6%
合計	1246	100.0%

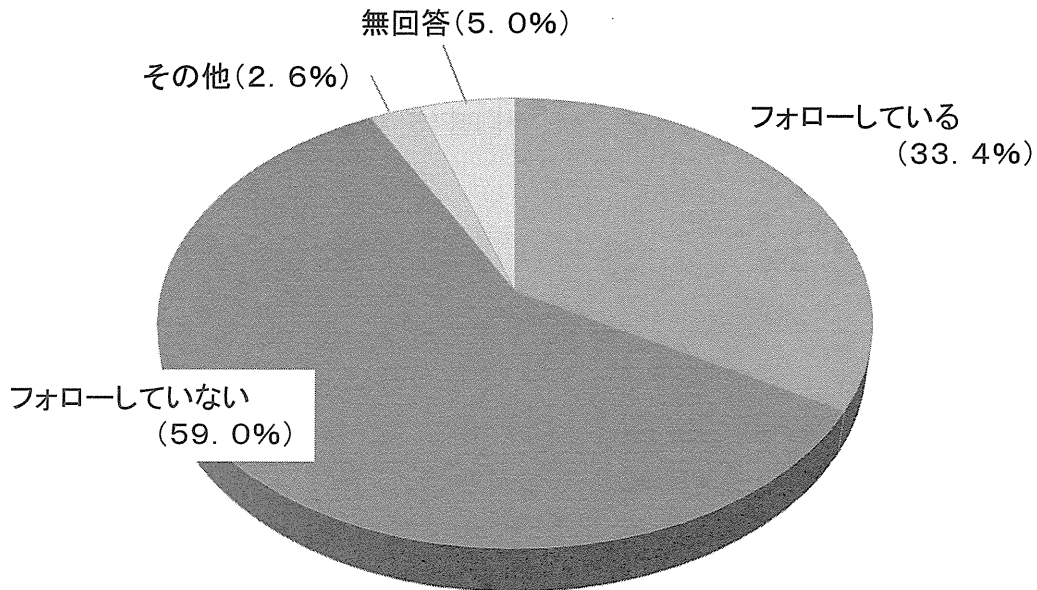
■「その他」の主なコメント

- ・今年度途中よりシステム導入。データ整備中
- ・エクセル管理
- ・紙ベースで管理している
- ・電子データのみ、4月の定期に向けて入力中
- ・台帳の項目に加え、ワクチンメーカー、ロット番号も記録している
- ・平成24年度よりコンピューターでも管理している。
- ・台帳の項目の他にワクチンの種類とロット番号の項目あり
- ・健診時や、住民基本台帳より抽出しフォローしている。
- ・紙ベースの名簿、台帳に記入し管理している。

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

③「ワクチン台帳」をもとに、接種を受けた人へのフォローをしていますか。

1. フォローしている
2. フォローしていない
3. その他()



回答	回答数	割合
フォローしている	416	33.4%
フォローしていない	735	59.0%
その他	33	2.6%
無回答	62	5.0%
合計	1246	100.0%

■「その他」の主なコメント

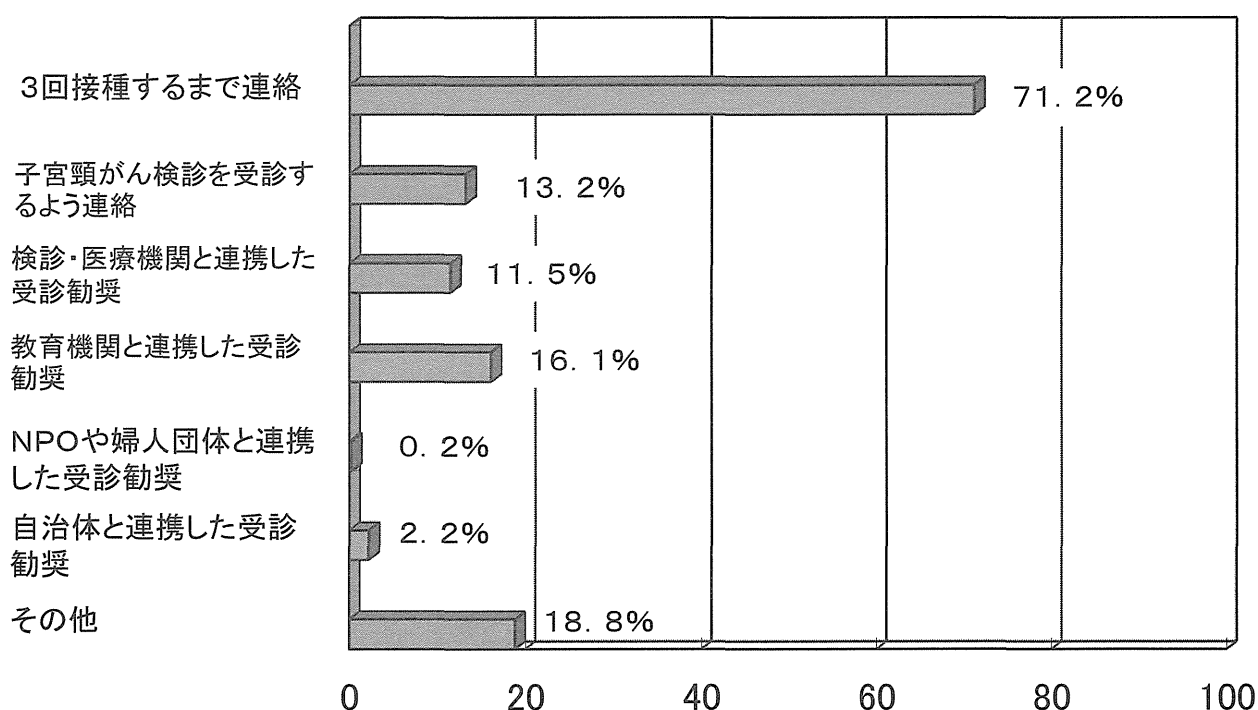
- ・台帳をもとにせず、医療機関から未接種者リストが来てから電話連絡した
- ・高1助成対象者のみ3回未完了者へ通知
- ・接種を受けた学年がH25年度に20歳となるため、子宮がん検診のPRをする予定
- ・接種を受けた者ではなく、接種を受けていない者への勧奨は行っている
- ・市が行うがん検診の対象年齢に達した際には、フォローできるよう準備をすすめている
- ・接種勧奨とともに随時検診のことも啓発している
- ・窓口などで相談があれば対応する。
- ・医療機関から問い合わせがあった場合フォローしている
- ・一部対象者で、2回目、3回目の未接種者へ個別通知
- ・広報誌等を通じて周知を図っている
- ・高校1年生については3月末までに1回でも接種していれば高校2年生も対象となるため、案内を行っている
- ・委託している医療機関に接種のスケジュールまでお願いしている
- ・学校を通じて、勧奨チラシの配布を行なっている。
- ・接種対象者すべてに子宮頸がん検診を受診するよう啓発している
- ・接種対象者だけでなく全員に20歳になったら検診勧奨を行っている
- ・未接種者へのフォロー→ハガキ等での勧奨。接種を受けた人へのフォローなし
- ・ワクチン台帳とともにではなく、20歳の方全員に子宮頸がん検診の受診票を一斉発送をしている
- ・受診勧奨の個別通知を接種前の方には実施している

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

「フォローしている」とお答えの方にお聞きます。

どのようにフォローしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 3回接種するまで電話やハガキなどで連絡している
2. 子宮頸がん検診を受診するように連絡している
3. 検診機関や医療機関と連携して子宮頸がん検診の受診勧奨や啓発活動を行っている
4. 教育機関(教育委員会等)と連携して子宮頸がん検診の受診勧奨や啓発活動を行っている
5. NPOや婦人団体と連携して子宮頸がん検診の受診勧奨や啓発活動を行っている
6. 都道府県や近隣の自治体と連携して子宮頸がん検診の受診勧奨や啓発活動を行っている
7. その他()



回答	回答数	回答率
3回接種するまで電話やハガキで連絡している	296	71.2%
子宮頸がん検診を受診するよう連絡している	55	13.2%
検診・医療機関と連携した受診勧奨や啓発活動	48	11.5%
教育機関と連携した受診勧奨や啓発活動	67	16.1%
NPOや婦人団体と連携した受診勧奨や啓発活動	1	0.2%
都道府県や自治体と連携した受診勧奨や啓発活動	9	2.2%
その他	78	18.8%
対象者数	416	-

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

「フォローしている」とお答えの方にお聞きします。
どのようにフォローしていますか。

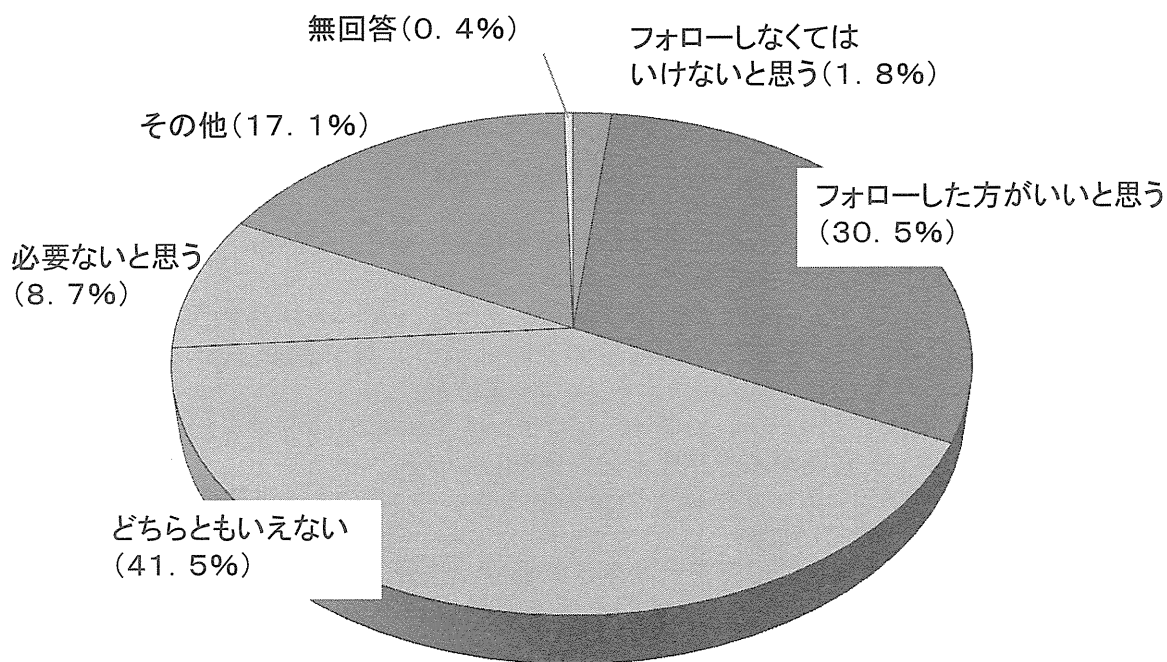
■その他の主なコメント

- ・未接種者の再通知。通知文には3回完了効果や20歳以後の子宮がん検診の大切さについて記載
- ・3回接種するまで年度始めに予診票を送付している
- ・高1の学年については、3回済んでいない場合、年齢内に接種するよう勧奨している
- ・未接種者と合わせて、町報等により接種勧奨をしている
- ・接種間隔が開いている人には個別でハガキを郵送している
- ・高校1年の未接種者のみ個別通知にて勧奨
- ・次年度も接種対象となった場合に、接種が完了していない方にハガキで連絡
- ・町報及び通知文で受診勧奨や啓発活動を行っている
- ・接種予定者とその親と面談し、ワクチンの説明の他、子宮がんについて、検診受診の必要性について伝えている
- ・接種間隔等相談に応じている
- ・予診票が紛失等でない人への再発行や必要な人への接種間隔のアドバイスをやっている
- ・市内の学校に対象者への接種勧奨を依頼
- ・年2回、未受診者への一斉通知
- ・集団接種で実施しており、各中学校の養護教諭と連携をとってやっている
- ・助成期間内の未接種対象者に勧奨通知
- ・必要性に応じて、検診の受診勧奨をあわせて実施。
- ・各中学校に依頼し全対象にチラシを配布した後、1回目の未接種者に対してハガキで勧奨をした。
- ・接種料助成の案内を行った。定期予防接種に導入されれば接種勧奨を行う。
- ・未接種で市立中学校以外へ通学している対象者と高校生相当の対象者に個別勧奨している。
- ・接種間隔の問合せ時に活用している。
- ・未接種者に対して啓発通知を出している
- ・接種方法等について連絡している
- ・接種希望の方には注意事項、その後のがん検診の必要性は伝えています。
- ・対象者への個人通知
- ・広報やホームページを通じて受診勧奨や啓発活動を実施
- ・教育委員会を通し、中1～中3の女子へ啓発(1回)。高1については未接種者に対して個別通知をし、啓発を行った。(1回)
- ・接種を開始した人で3回目を6ヶ月以上経過しても接種されていない方へのハガキでの通知
- ・3回目未接種の高校1年生に接種勧奨のハガキで連絡。中学生の女子全員に接種勧奨のチラシを学校を通して配布
- ・1年以内に3回接種するよう勧奨ハガキを通知
- ・ワクチンの必要回数、期間等の情報を対象者へ個別通知を行ったり、小中学校に対し情報提供をしている。未接種者への接種勧奨も併せてやっている
- ・パンフレットの配布と接種医師からの説明
- ・予防接種未完了者には年度当初ハガキで周知
- ・全く接種していない中学生に対し個別通知を実施
- ・新規対象者と1回でも接種した人には受診勧奨通知を出している。
- ・対象外となる期限がせまっている方にのみ電話で勧奨している
- ・公費補助の期間変更等でそれに該当する学年には案内を送付する
- ・未接種者に対し年1回(秋)助成期間の案内を送付
- ・健康市民講座において子宮頸がんについての講演会を実施

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

「フォローしていない」とお答えの方にお聞きします。
 ワクチン接種後のフォローについてどう思っていますか。

1. しなくてはいけないと思う
2. した方がいいと思う
3. どちらともいえない
4. 必要ないと思う
5. その他()



回答	回答数	割合
しなくてはいけないと思う	13	1.8%
した方がいいと思う	224	30.5%
どちらともいえない	305	41.5%
必要ないと思う	64	8.7%
その他	126	17.1%
無回答	3	0.4%
合計	735	100.0%

Ⅱ 集計結果 ～ ワクチン台帳について

「フォローしていない」とお答えの方にお聞きします。
ワクチン接種後のフォローについてどう思っていますか。

■その他の主なコメント

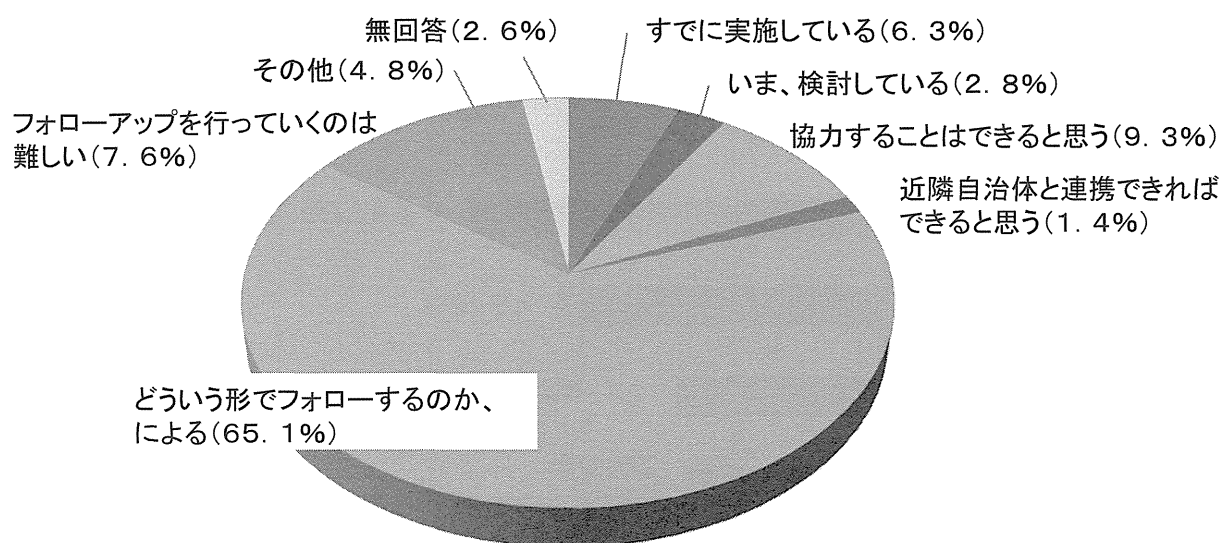
- ・定期接種であれば、未接種者への勧奨は必要
- ・任意接種であり、個人の意志が尊重されるものと考えます。
- ・フォローしたほうがいいと思うが、長期間にわたるデータ収集のため難しい
- ・任意の予防接種である以上、積極的な接種勧奨は実施しないが、がん予防の知識普及、啓発としてのPRは必要と考えています
- ・すべきたが対象者が多数いるため難しい
- ・子宮頸がん検診の対象者が出てきたら、受診勧奨をする予定
- ・受けた人に限ったの勧奨は行っていないが、20才以上の全員に対して通知によるがん検診の受診勧奨を行っている
- ・検診については必要と考えるが、任意接種である予防接種については3回接種も強制できない
- ・接種した人の年齢が一番高い人で現在18歳であり、検診年齢(20歳以上)になったら検診申込書等で啓発など考えていきたい(検診について)
- ・勧奨ちらしや説明書に子宮がん検診の受診勧奨や啓発を掲載している
- ・接種した医療機関でのフォローが望ましい
- ・接種を受けた人へはフォローしていないが、接種を受けない人への接種勧奨をしている。
- ・ワクチンの接種勧奨の際に子宮頸がん検診の受診勧奨の文言を追加している。
- ・契約先病院との打ち合わせで、病院によるフォローを依頼
- ・公立中学校への接種勧奨リーフレット配付、ワクチン検診両方の必要性を記したパンフレットの個別送付等を行い、子宮頸がん予防を十分に周知している。
- ・ワクチン接種、啓発チラシ等にごがん検診の受診勧奨をしているのみ、接種済者をピックアップしてのフォローはまだできていない
- ・任意接種のため、被接種者に接種を受ける努力義務が法律上ない。そのため未接種者への接種勧奨は行っていない。(「ワクチン接種緊急促進事業実施要領」による)
- ・子宮頸がん検診受診の勧奨については、対象年齢全体を対象に実施しているため、ワクチン接種者に対する特別な勧奨は行っていない。
- ・3回接種するまでのフォローはしているが、終了後はフォローなし。検診の受診勧奨のみ。
- ・成人式での検診啓発を実施している
- ・接種時に「20才になったら検診の受診すること」を指導している。20才時点でも住民であれば検診受診勧奨するのでそれ以上の対応は難しい。
- ・対象者全員に予診票、検診パンフレット等を送付し、受診勧奨及び啓発活動を行っている。接種者に限定しないで、対象者の家族(母・姉妹)にも啓発が必要です。
- ・事業開始前に医療機関に対して講演等の研修を行い、接種時に医療機関による説明・指導をするようにした
- ・接種完了後、検診の対象になるまで年数があくため、フォローは大切だと思うが、できない。
- ・任意接種のため情報提供は必要だが、未接種者への勧奨が必要かについては疑問がある。子宮がん検診の受診勧奨や啓発活動は必要かと思う。
- ・中学生は学校、高校生は個別に通知し、全体としても市広報に掲載して周知を図っている。
- ・接種の有無にかかわらず子宮頸がん検診を受診するよう啓発が必要
- ・接種を受けなくても検診は必要なので、教育機関(中学校)と連携して、子宮頸がん検診への啓発活動を行っている
- ・医療機関で電話勧奨してくれているので、中高校生のため、現在は行っていないです
- ・当市では、20歳以上の市民で職場で検診を受ける機会のない女性に子宮がん検診を行っているため、特に必要ないと考える。

Ⅱ 集計結果 ～ 接種後のフォローアップについて

すべての方にお聞きします。

公共機関が、接種後のフォローアップを行うことについて、あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. すでに実施している → 実施団体は()
2. いま検討している
3. 協力することはできると思う
4. 近隣の自治体などと連携できればできると思う
5. どのような形でどこまでフォローするのかによる
6. フォローアップを行っていくのは難しい
7. その他()



回答	回答数	割合
すでに実施している	78	6.3%
いま、検討している	35	2.8%
協力することはできると思う	116	9.3%
近隣自治体と連携できればできると思う	18	1.4%
どのような形でフォローするか、による	811	65.1%
フォローアップを行っていくのは難しい	95	7.6%
その他	60	4.8%
無回答	33	2.6%
合計	1246	100.0%

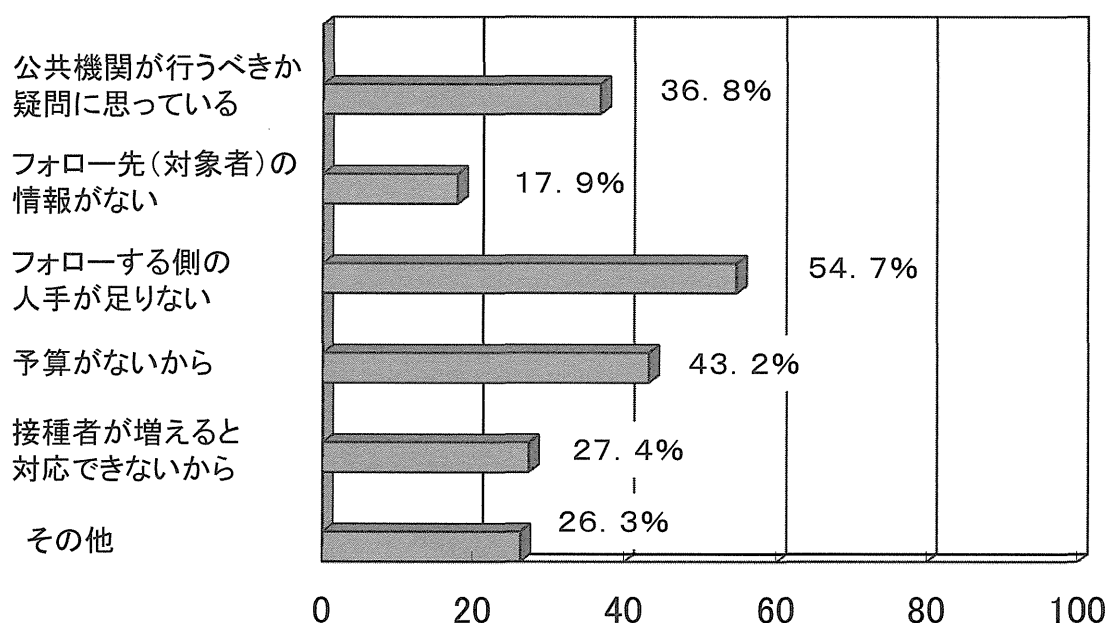
■「その他」の主なコメント

- ・国が定期(法令)接種にすれば、フォローできる。現況は中途半端な状態。任意接種である限り、定期以上のことはできない。その他、私達小規模自治体は人員不足にも悩まされている。複数業務の兼務に不安を感じる。
- ・受けた人に限っての勧奨は行っていないが、20才以上の全員に対して通知によるがん検診の受診勧奨を行っている
- ・現時点では具体的な検討は行っていない。
- ・予防接種の健康被害の対応についてのみフォローしている
- ・定期接種になれば実施
- ・他の予防接種と比較して極端に接種率が低いなどの問題が生じれば、接種勧奨等のフォローも検討する必要があると思う。

Ⅱ 集計結果 ～ 接種後のフォローアップについて

「フォローアップをするのは難しい」とお答えの方に伺います。なぜ、そう思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 公共機関が行うべきかどうか疑問に思っているから
2. フォロー先(対象者)の情報がない
3. フォローする側の人手が足りないため
4. フォローアップ活動にかかわる予算がないから
5. 接種者が増え過ぎると対応できない可能性があるから
6. その他()



回答	回答数	回答率
公共機関が行うべきかどうか疑問に思っている	35	36.8%
フォロー先(対象者)の情報がない	17	17.9%
フォローする側の人手が足りない	52	54.7%
フォローアップ活動にかかわる予算がない	41	43.2%
接種者が増え過ぎると対応できない可能性がある	26	27.4%
その他	25	26.3%
合計	95	-

■「その他」の主なコメント

- ・行うにしても、ガイドラインがない為、地域差がでてしまう
- ・町内で接種した人は、進学や就職で転出していく割合が高い。ワクチン接種の有無で啓発していくというより、ワクチンを受けていない人への啓発もより大切と思われるため、全体への検診の啓発が必要と思います。
- ・任意接種だから
- ・業務として必要性を感じないため
- ・“フォロー”の内容や目的、意味が何なのかわからない。
- ・子宮がん検診の勧奨や啓発はHPVワクチンの接種・未接種で差別して行われるべきではなく、現に本市でも広く実施されている。「ワクチン台帳をもとに」「接種を受けた人に絞って」実施することは今後も考えていない。また、任意接種を市町村が強く勧奨すべきではないと考えているが、本年4月の法定化(予定)以後は対象者を追跡しての勧奨も他接種と同様に実施する。

Ⅱ 集計結果 ～ 子宮頸がん検診について

貴自治体の2010年度と2011年度の子宮頸がん検診の受診率をご記入ください。

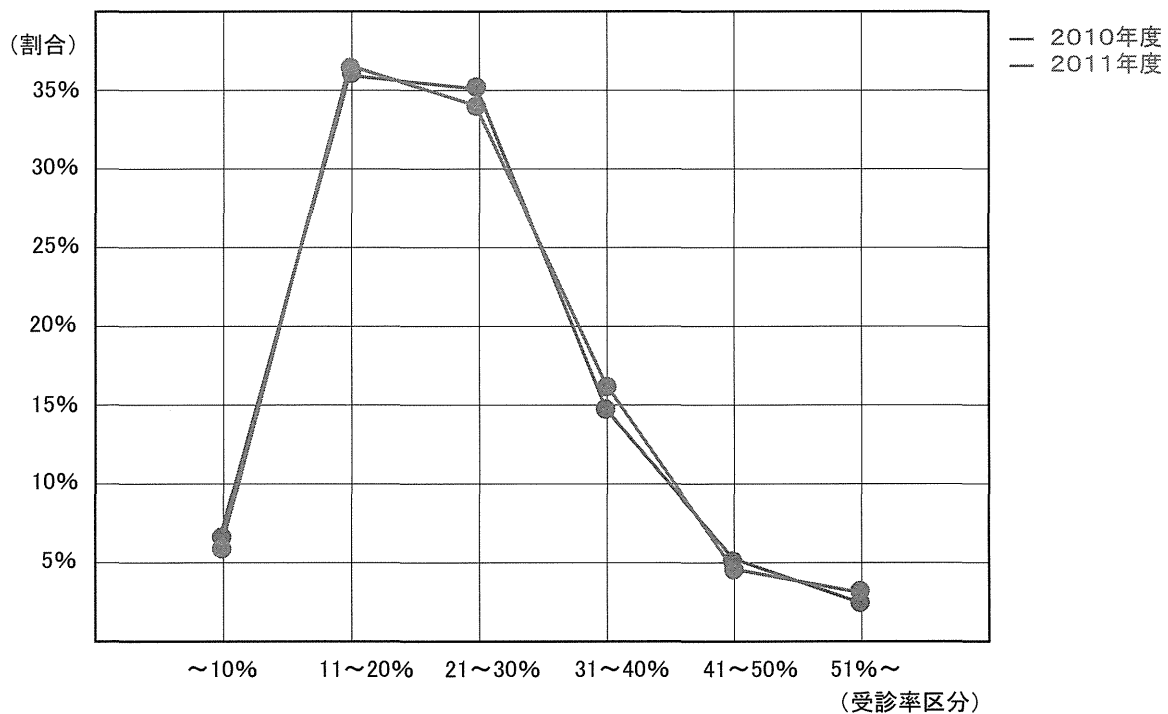
2010年度()% 2011年度()%

項目	平均接種率	有効回答数
2010年度	23.6%	1192
2011年度	24.0%	1203

年度別で比較した各受診率区分ごとのに占める割合

項目	～10%		11～20%		21～30%		31～40%		41～50%		51%～	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
2010年度	75	6.3%	428	35.9%	423	35.5%	176	14.8%	57	4.8%	33	2.8%
2011年度	71	5.9%	438	36.4%	413	34.3%	186	15.5%	54	4.5%	41	3.4%

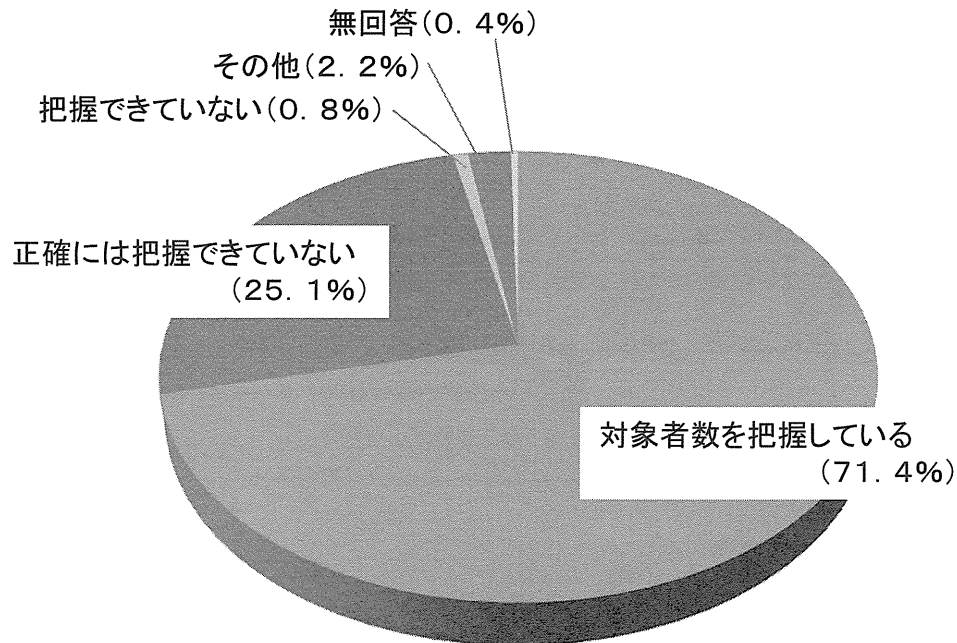
年度別に比較した各受診率区分ごとのに占める割合をグラフで表示したもの



Ⅱ 集計結果 ～ 子宮頸がん検診の対象者について

子宮頸がん検診(住民検診)の対象者数を把握していますか。

1. 把握している
2. 正確には把握できていない
3. 把握できていない
4. その他()



回答	回答数	割合
把握している	890	71.4%
正確には把握していない	313	25.1%
把握できていない	10	0.8%
その他	28	2.2%
無回答	5	0.4%
合計	1246	100.0%

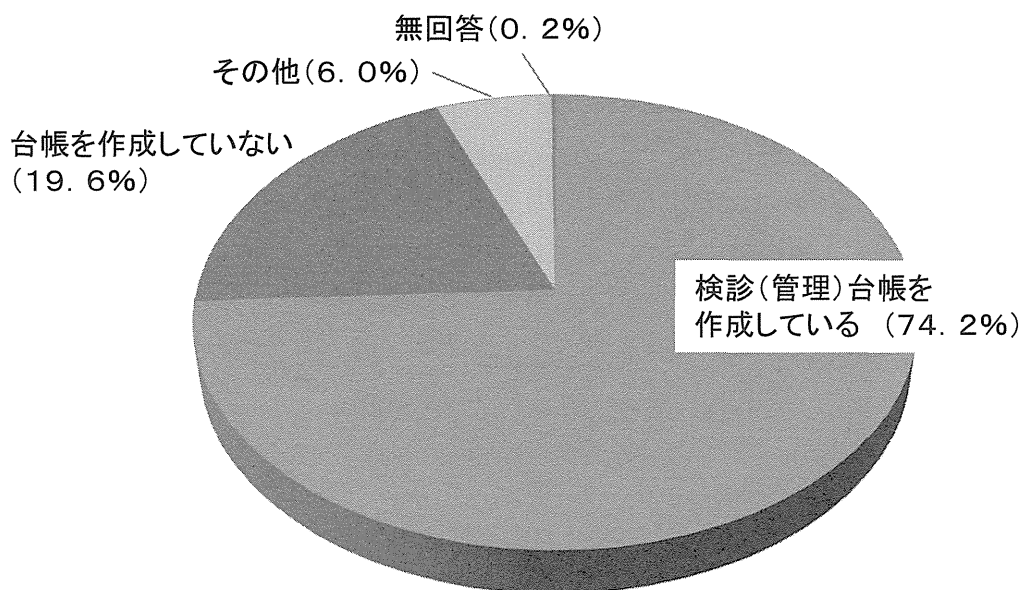
■「その他」の主なコメント

- ・県が出している推計方式を利用
(国勢調査及び県の年齢別人口統計調査の結果から推計する方法)
- ・把握できていないため、人口数に都の対象人口率を掛けて算出している
- ・推計対象者数を利用しているため、5年に1回の把握となる
- ・人間ドックや職場検診等で受診機会のある人の把握が正確にできていない。
- ・人口等をもとに、おおよその対象者数を把握している。
- ・国の基準を利用している。管理台帳を利用すれば20歳以上の女性の人数は把握可能。
- ・ある一定の係数を人口にかけた数字を対象者数としている。その数の把握をしている
- ・「今後の我が国におけるがん検診事業計画の在り方について報告書」から
- ・国のがん検診事業の評価に関する委員会で示した算式による

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

子宮頸がん検診の受診対象に関する「検診(管理)台帳」を作成していますか。

1. 作成している
2. 作成していない
3. その他()



回答	回答数	割合
作成している	925	74.2%
作成していない	244	19.6%
その他	75	6.0%
無回答	2	0.2%
合計	1246	100.0%

■「その他」の主なコメント

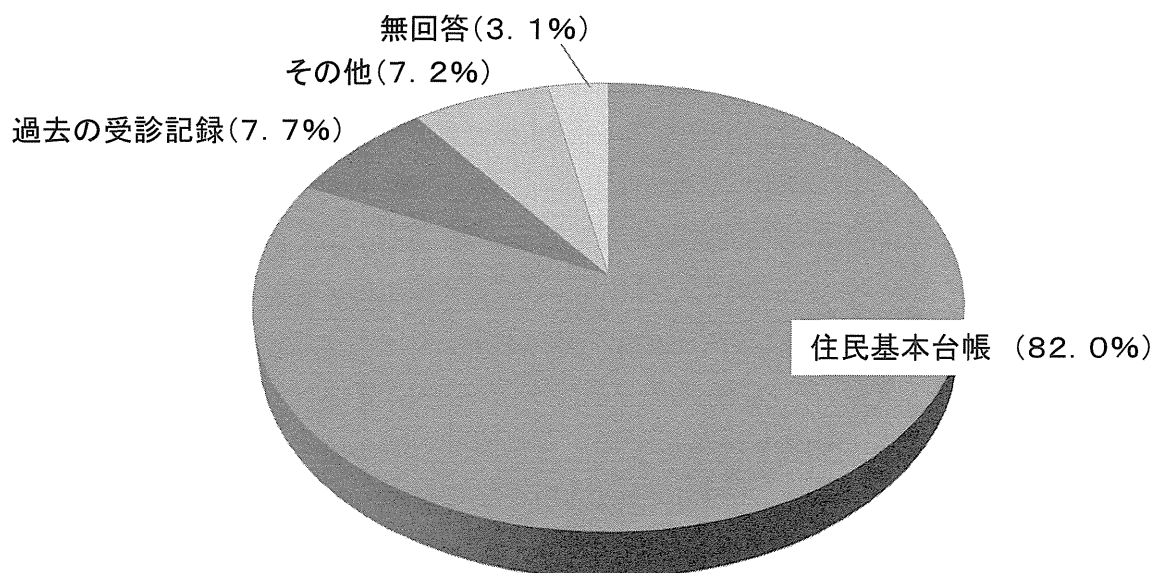
- ・節目年齢は台帳作成。その他は受診者のみの管理台帳
- ・クーポン対象者は作成している
- ・検診管理台帳としては作成しておらず、そこそこの検診で受診者の一覧表として管理(総合健診・クーポン券受診・医療機関での個別検診)
- ・クーポン対象者とクーポン対象外で受診した人のみ作成している。
- ・健康管理システムで管理
- ・台帳として打ち出していないがデータベース化されており、受診・未受診の把握は可
- ・今、2～3年作成していない
- ・システムで管理している
- ・対象者リストと受診者リストと別々
- ・検診受診記録、精検結果等についてコンピュータで管理(受診者分のみ)
- ・検診委託機関での連名簿及び結果一覧ではある
- ・必要な時にデータ抽出し作成するため、常に作成している訳ではない
- ・子宮頸がん検診の対象者についてのみの台帳は作成していないが、健康情報システムにより、住民健診については管理している。
- ・がん検診推進事業のみ、台帳を作成している
- ・完全ではないが作成している
- ・システムではなく文書台帳で管理している
- ・システムとして個人データは作成しているが、紙ベースでは作成していない。

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

「管理台帳を作成している」とお答えの方へお聞きます。

①「管理台帳」は何をもとに作成していますか。

1. 住民基本台帳
2. 過去の受診記録
3. その他()



回答	回答数	割合
住民基本台帳	820	82.0%
過去の受診記録	77	7.7%
その他	72	7.2%
無回答	31	3.1%
合計	1000	100.0%

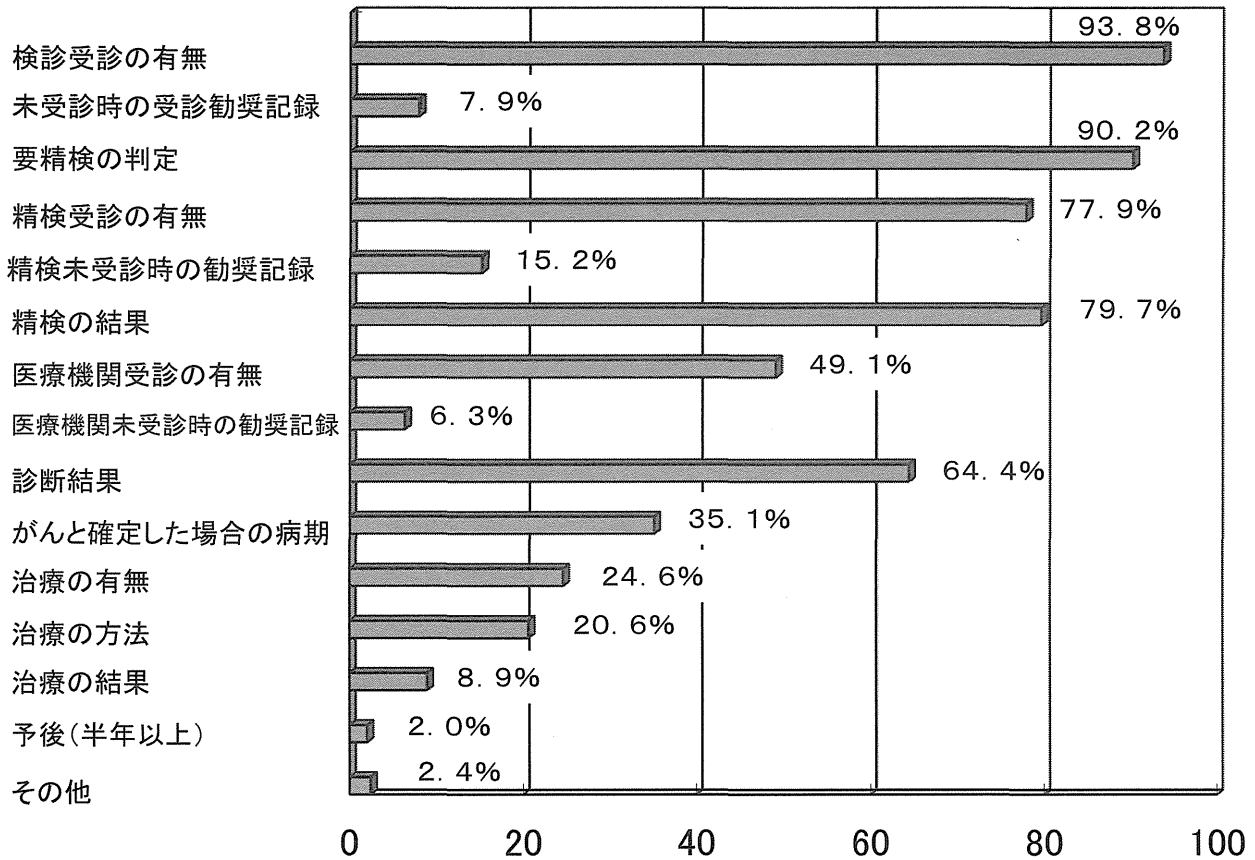
■「その他」の主なコメント

- ・システムを導入
- ・国のがん検診推進事業に基づき作成
- ・受診結果より
- ・過去受診記録及本年度受診記録
- ・クーポン基準日の住民基本台帳
- ・健康管理システム
- ・がん検診登録者(1度登録すると3年間は登録となり、その間に受診をすれば、受診から3年間登録が継続される)
- ・単年度毎の受診記録
- ・今年度受診者と精密検査対象者
- ・受診票に記載されている内容をもとに作成(年度ごとの管理)
- ・健康管理システムに住基情報と受診状況をとりこみ、管理している。
- ・健康管理システムを利用し、受診希望登録制をとっている
- ・受診者のみ作成
- ・地域健康支援システム、健康かるて
- ・受診希望者(名簿)
- ・健康管理システム
- ・住民基本台帳と過去の受診記録
- ・健康診査受診意向調査等

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

「管理台帳を作成している」とお答えの方へお聞きします。

②「管理台帳」に設けられている項目に○をつけてください。



■「その他」の主なコメント

- ・年令、生年月日、住所
- ・精密検査の検査方法
- ・精検受診の日付、医療機関名
- ・診断後の処置
- ・検診回数
- ・検診時や精検時における偶発症の有無
- ・結果報告書のコメントを自由入力
- ・精検結果後の処置
- ・一次検診結果
- ・対象者の氏名、生年月日、住所
- ・受診日
- ・初回or非初回
- ・要精検者については各検診ごとに別途、受診結果がんと確定時の病期、治療の有無等を管理
- ・過去の検診受診歴、検診中・後の重篤な偶発症について、検診中・後の偶発症による死亡の有無、無料クーポン券利用の有無

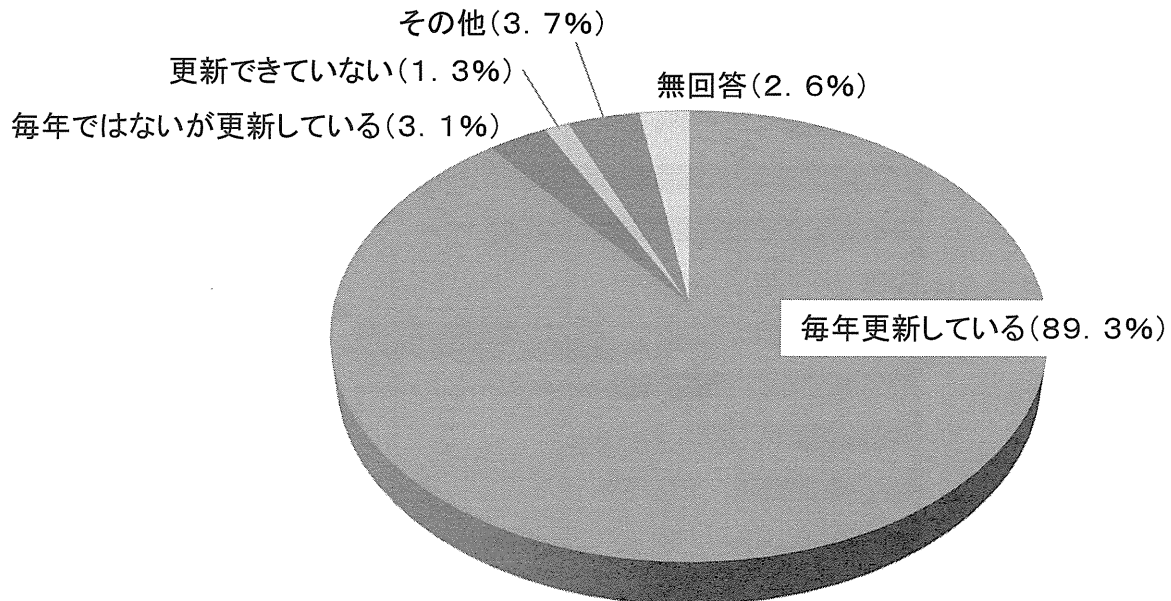
回答	回答数	回答率
検診受診の有無	938	93.8%
未受診時に行った受診勧奨記録	79	7.9%
要精検の判定	902	90.2%
精検受診の有無	779	77.9%
精検未受診時に行った受診勧奨記録	152	15.2%
精検の結果	797	79.7%
医療機関受診の有無	491	49.1%
医療機関未受診時に行った受診勧奨記録	63	6.3%
診断結果	644	64.4%
がんと確定した場合の病期	351	35.1%
治療の有無	246	24.6%
治療の方法	206	20.6%
治療の結果	89	8.9%
予後(半年以上)	20	2.0%
その他	24	2.4%
合計	1000	-

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

「管理台帳を作成している」とお答えの方へお聞きします。

③「管理台帳」は、毎年更新していますか。

1. 更新している
2. 毎年ではないが更新している
3. 更新できていない
4. その他()



回答	回答数	割合
更新している	893	89.3%
毎年ではない	31	3.1%
更新できていない	13	1.3%
その他	37	3.7%
無回答	26	2.6%
合計	1000	100.0%

■「その他」の主なコメント

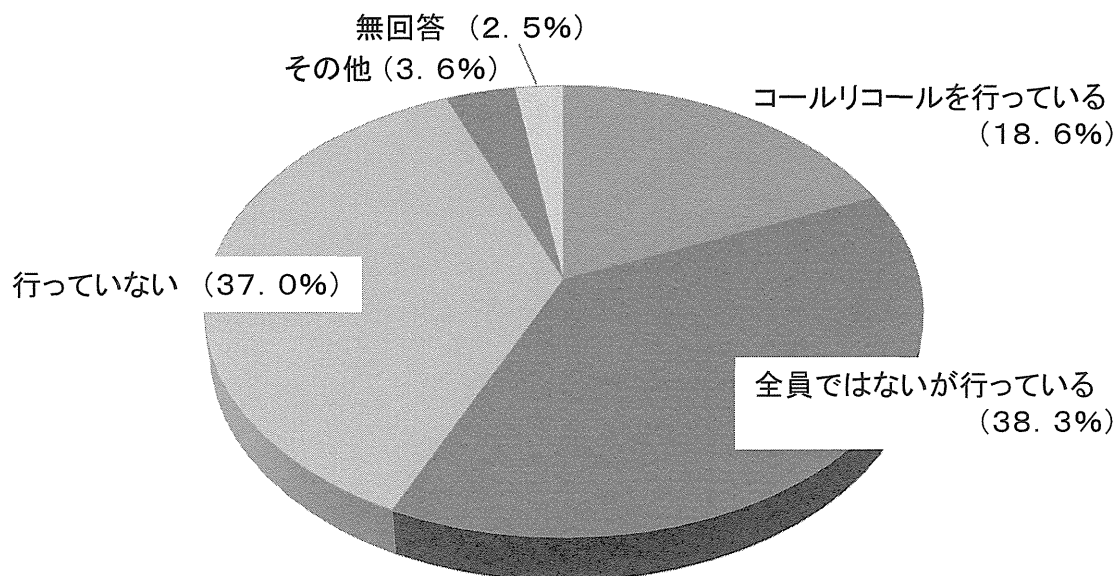
- ・単年ごとの管理台帳を作成している
- ・がん検診推進事業としては更新している
- ・受診や精検結果把握後入力
- ・システム管理により住基と連動している
- ・受診者については受診の度に更新
- ・クーポン対象者が毎年違うため更新しない
- ・クーポン対象者のみ
- ・次の検診受診で更新している
- ・市の住民情報と連動しているので常に最新情報です
- ・クーポン対象者についてのみなので毎年の更新は行っていない
- ・年度毎に台帳を作成。統合できていない。
- ・子宮がん検診を受診した人については更新している。
- ・データにて管理しているので受診歴が蓄積されていく
- ・精密検査台帳のみ更新
- ・受診者のみの管理台帳は毎年作成している。
- ・検診受診毎に更新している。
- ・健康情報システムによる経年管理
- ・住民基本台帳をもとに健康管理システムを導入している為、月単位に更新している
- ・個人用のカルテなので、受診すれば記入している。
- ・電子データとしてその都度更新している。

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

「管理台帳を作成している」とお答えの方へお聞きします。

④「管理台帳」で未受診者を把握して、コール・リコール(電話やハガキなどによる個別勧奨)を行っていますか。

1. 行っている
2. 全員ではないが行っている
3. 行っていない
4. その他()



回答	回答数	割合
行っている	186	18.6%
全員ではないが行っている	383	38.3%
行っていない	370	37.0%
その他	36	3.6%
無回答	25	2.5%
合計	1000	100.0%

■「その他」の主なコメント

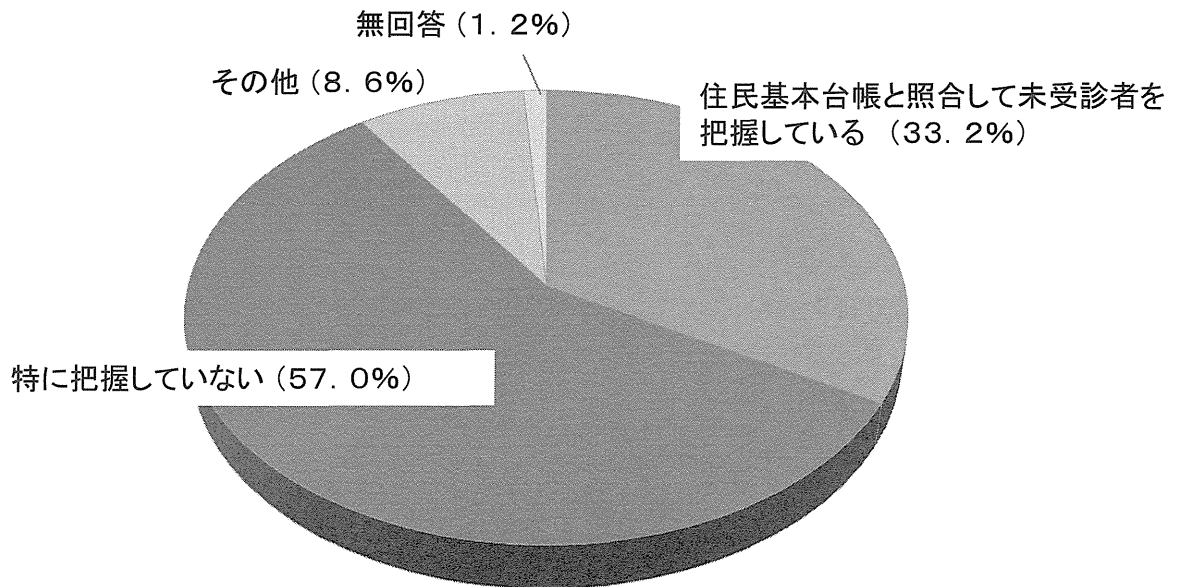
- ・無料クーポン対象者に実施
- ・何年かに1回実施
- ・今年度は実施
- ・平成25年度より実施予定
- ・子宮頸がんに限ってはしていない
- ・行っているが、管理台帳は使用していない
- ・台帳ではなく検診センターからの連絡により勧奨している
- ・現在のところ行っていないが、今後行う予定で検討中
- ・24年度よりハガキによるコールのみ実施。(30、35、40歳を対象とした)
- ・一次検診未受診者の個別勧奨は行っていないが、精密検査該当者で精検未受診者に対する個別勧奨は行っている
- ・無料クーポン対象者のうち未受診者に通知を行った
- ・検診未受診者については、一部のみ(クーポン対象者)実施。精検未受診者については、行っている。
- ・がん検診推進事業として子宮頸がん検診の未受診者へハガキによる個別勧奨を行っている
- ・広報等での受診勧奨を実施。近年財政縮小により未受診者への再通知の予算がとれない。年度初めに個別通知は行っている
- ・子宮頸がん検診は20歳以上の国保加入者や社保の扶養の方を対象に送付(2年に1度、偶数年齢時) 41歳～59歳までの未受診者には翌年の奇数年のときにも個人通知を送付している。
- ・平成24年度はモデル地区を選定して行いました。

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

「検診(管理)台帳を作成していない」とお答えの方へお聞きます。

①未受診者はどうやって把握されていますか。

1. 受診者のデータを住民基本台帳と照合して、未受診者を把握している
2. 特に把握していない
3. その他()



回答	回答数	割合
受診者のデータを住民基本台帳と照合して未受診者を把握している	81	33.2%
特に把握していない	139	57.0%
その他	21	8.6%
無回答	3	1.2%
合計	244	100.0%

■「その他」の主なコメント

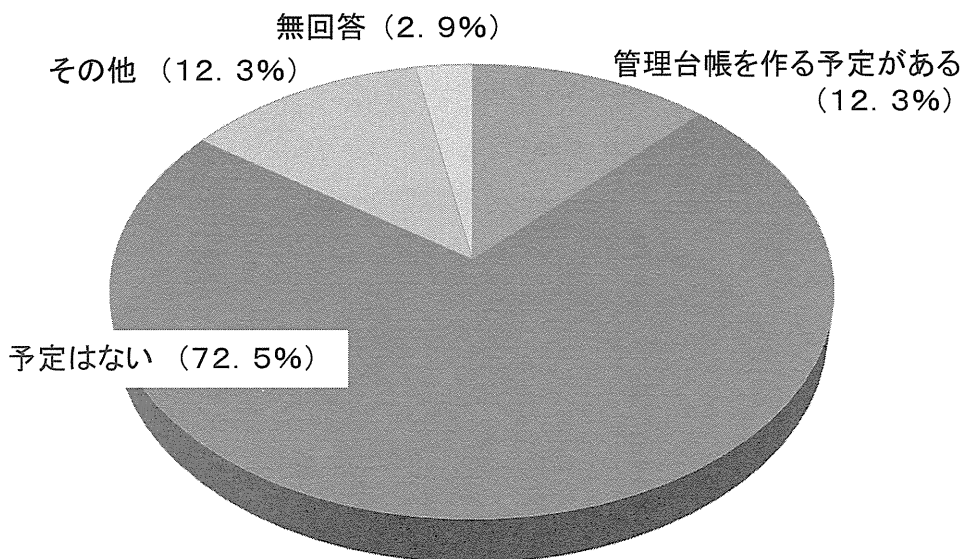
- ・健診アンケートと受診者一覧
- ・各種がん検診等の希望調査
- ・健康管理システムで把握している
- ・受診者名簿により確認している
- ・クーポン券の対象者のみ未受診者を把握している。
- ・受診者のみ把握しているため、その他の方を未受診者にとらえている
- ・クーポン券対象者のみ、クーポン券対象名簿と受診者データを照合し、未受診者を把握している
- ・クーポン券利用の補助事業については、台帳管理している。
- ・女性特有のがん検診推進事業の対象者のみ未受診者を把握している。
- ・子宮がん検診は申込制であり、申込者をデータ化して受診履歴を管理している。
- ・クーポン対象者は台帳管理し、一部受診勧奨の電話をする際に把握している。
- ・住民基本台帳と連動したシステムで把握している。
- ・希望調査を行う予定(H25)、その後検討する
- ・検診団体から提供される検診結果名簿から未受診者を把握
- ・健康管理システムで管理。住民基本台帳と受診者データを照合し、未受診者を把握

Ⅱ 集計結果 ～ 「管理台帳」について

「検診(管理)台帳を作成していない」とお答えの方へお聞きします。

②「管理台帳」を作られる予定はありますか。

1. ある → 具体的な導入時期が決まっていますか。→ ()年度から
2. ない
3. その他()



回答	回答数	割合
ある	30	12.3%
ない	177	72.5%
その他	30	12.3%
無回答	7	2.9%
合計	244	100.0%

導入時期について

→→→→

回答	回答数	割合
平成25年	13	43.3%
平成26年	6	20.0%
平成27年	1	3.3%
それ以降	1	3.3%
無回答	9	30.0%
合計	30	100.0%

■「その他」の主なコメント

- ・わからない。予算次第
- ・管理システムを来年度導入予定である
- ・それぞれ行っている検診をまとめて管理台帳を作成すればいいと思っておりますが、未受診者への受診勧奨は特には行っていないため、それぞれで管理(受診者の)をしても特別に不便を感じません
- ・検討中。毎年のファイル管理。うまく照合されていない。よりよいものに検討中。
- ・がん検診推進事業対象者のみ台帳作成
- ・マンパワー不足で健診業務に力を入れられてない
- ・管理台帳作成の必要性は感じているが、現在使用している健康管理システムに対応できたらと検討している段階である。
- ・来年度システム導入予定だが、対象住民全員については、むずかしいと思われる。
- ・管理台帳を作成する予定はないが、検診委託団体に受診者の履歴を管理している。
- ・現在は個人の検診記録の管理や統計処理が可能なシステム(台帳)はあるが、今後は「がん検診」受診者のリスト管理を行い、未受診者の把握も可能な台帳に変更予定(H26年度中)
- ・システムの事情で作成できなかったため、今後検討
- ・全ての受診に関するデータの蓄積はできており、常に抽出できる状態であるが、1つの管理台帳に基づいてデータ管理していない。対象は流動的になるので、そうなっている。